



The Institute of Electronics, Information and Communication Engineers

電子情報通信学会 特別号 April 2014

情報・システムソサイエティ誌

IEICE INFORMATION AND SYSTEMS SOCIETY JOURNAL

平成 26 年度ソサイエティ活動

情報・システムソサイエティ次期会長

安浦 寛人
九州大学



情報・システムソサイエティ(ISS)は、コンピュータによる情報処理技術、コンピュータ・通信・人間を融合したシステム化技術に関する基礎から応用までの分野を研究領域としています。ISS の役割は、会員に研究発表と交流の場を提供するとともに、今や重要な社会基盤となった情報技術分野の持続的な発展に貢献することです。平成 26 年度は、下記のような活動をしていきます。

(1) 技報電子化の推進と他の出版物の電子化の推進

研究会活動の見える化や情報提供サービスの向上を促進するために、平成 25 年度に始めた技報オンラインサービスのトライアルサービスを、平成 26 年度は正式運用として開始します。また、将来、技報をオンラインサービス等にて提供することを目指し、過去の技報の遡及電子化を引き続き行います。FIT 予稿集についても、平成 25 年度に過去開催分をすべて大会アーカイブスへの搭載並びに I-Scover への登録を終了する予定であり、引き続き今後の開催分についての電子化を進めます。ソサイエティ誌のアーカイブ化・I-Scover への搭載を行うなど、会員からのアクセスについて一層の便宜を図ります。

(2) 研究会活動の活性化とソサイエティ誌や Web による情報共有の強化

会員の研究発表や技術交流を行う研究会の活性化や各研究専門委員会の国際会議の主催・共催などによる国際化も大切です。これらの活動をより効果的に行うために、研究専門委員会、技術会議、運営幹事団との連携を深め、相互に支援できる体制を強化します。一方で、技術の急速な発展に伴い、専門分野間の重なりや距離感も変化しています。研究会相互の情報交流の促進、各研究会活動の見える化、及び研究会間での情報共有が可能な方策を検討します。また、研究会の相関図のようなソサイエティを横断する活動や研究者のユニークな活動を紹介するコンテンツを充実させる等ソサイエティ誌や Web の内容を工夫し、研究会活動の情報

発信強化に利用します。

(3) 論文誌の質の向上と効率性の改善の検討

情報・システム研究における日本での中心的活動母体であり続けるためには、継続的に論文誌の質を向上させる仕組み作りが不可欠です。英文論文誌については、引き続き、インパクトファクター向上策、電子ジャーナルの可能性などについて検討します。また、特集号の電子公開トライアルの効果の評価に基づいて、特集号やサーベイ論文を充実させるための研究会との連携について検討します。和文論文誌についても、学生論文特集号やシステム開発論文の継続を行うとともに、秀逸論文認定制度などを活用した論文の質の向上を図ります。両誌ともにサーベイ論文や解説論文の充実とアクセス向上策、早期公開(編集前の採録原稿を公開)の開始、論文誌 Web ページや広報活動の充実、別刷辞退オプションと論文 PDF 配信制度の導入などコスト削減策も検討します。

(4) 会員サービスの充実と会員数増加施策

日本語・英語 Web ページの更改を継続することにより、研究会の活動の一般会員への情報発信や、グローバルな会員への情報発信を強化し、会員サービス・会員数増強の努力を続けます。総合大会の企画として行っている学生ポスターセッションは、評価の方法や継続可能な改善策を検討します。

(5) ISS の運営体制の強化

運営幹事会で各活動に対するグローバルな議論や、その費用対効果などの検討を行います。今後は、電子会議を積極的に活用するなどにより、各委員が議論に参加しやすい体制を強化します。

情報・システムソサイエティ(ISS)では、以上の活動を考えていますので、会員の皆様や、各研究専門委員会のご協力とご理解を、宜しくお願いいたします。

情報・システムソサイエティ誌とは？

情報・システムソサイエティが 1996 年度より年 4 回発行しているソサイエティ会員向けの情報誌です。

内容は、ソサイエティからのお知らせ、研究専門委員会の動向、研究室紹介、フェローの方々による寄稿、連載コラムなど、会員の皆様の役に立つ情報を満載しております。

特に、毎号の巻頭言には、電子情報通信分野の著

者の方々から寄稿を頂き、好評を博しております。今後も学生や企業の方などより幅広い方々に役立てて頂けるよう、ますます内容の充実を図る予定です。

情報・システムソサイエティ誌は、情報・システムソサイエティに登録をすれば自動的に送付されます。以下でも更に詳しく御紹介します。

ISS 達人へのステップ 1

情報・システムソサイエティ (ISS) への登録を

電子情報通信学会では 1995 年 4 月よりソサイエティ制になり、会員はいずれかのソサイエティに属することになっています。

これから学会に入会される方はもちろん、複数のソサイエティへの登録を希望される方も、ぜひ ISS に御登録下さい。なお、複数に登録する場合の ISS ソサイエティ

誌及びオンラインジャーナル購読の追加登録料は 3,500 円(学生は 2,000 円)です。ISS への追加登録を御希望の方は、早急に下記の様式で御連絡下さい。

購読のほかに ISS の様々な特典が利用できます。また、ISS 論文誌を購読する場合はステップ 2 を参照して下さい。

ISS 達人へのステップ 2

情報・システムソサイエティ (ISS) の論文誌は和英 2 種類

基本登録でオンラインジャーナル(和・英論文誌)の閲覧が可能です。追加登録を御希望の方は早急に下記の様式で御連絡下さい。

なお、和文論文誌 D 及び英文論文誌 ED のキーワードは下記のとおりです。

キーワード：

情報・システム基礎/計算機システム/ソフトウェアシステム/ソフトウェア工学/データ工学、Web 情報システム/情報ネットワーク/ディペンダブルコンピューティング/人工知能、データマイニング/ヒューマンコンピュータインタラクション/オフィスインフォメーションシステム、e-ビジネスモデリング/教育工学/福祉工学

パターン認識/音声、聴覚/画像・映像処理/画像認識、コンピュータビジョン/コンピュータグラフィックス/マルチメディア処理/自然言語処理/バイオサイバネティクス、ニューロコンピューティング/生体工学/音楽情報処理/感性情報処理

連絡先： E-mail: service@ieice.org Phone: 03-3433-6691 Fax: 03-3433-6659

名前 (会員番号)
所属
連絡先 〒
Phone: Fax: E-mail:
ISS ソサイエティ追加 (オンラインジャーナルとソサイエティ誌)

*なお、オンラインジャーナルの閲覧は登録処理後からとなります。

ISS 達人へのステップ3

情報・システムサイエティ(ISS)所属研究会の年間登録を

ISS には下記の 23 の第一種研究会があり、年間数回の研究会にあわせその技術研究報告書が出版されています。年間登録を行うと各回の技術研究報告書が送付され、毎回会場で購入するよりも安価になります。ぜひ御登録をお薦めします。本会ホームページ (<http://www.ieice.org/jpn/books/kenkyuuhokoku.html>) より御登録下さい。

なお、各研究会の研究分野の詳細については <http://www.ieice.org/jpn/kensenmon4.html> を御覧下さい。

研究会(記号)	予約価(円)	委員長/副委員長
MEとハイオサイバネティクス MBE	10,476	中尾 光之 (東北大) 神保 泰彦 (東大)
ライフインテリジェンスとオフィス情報システム LOIS	12,312	若原 俊彦 (福岡工大) 岡本 学 (NTT)
画像工学 IE	5,508	藤井 俊彰 (名大) 高村 誠之 (NTT), 浜本 隆之 (東京理科大)
言語理解とコミュニケーション NLC	3,996	山本 和英 (長岡技科大) 竹内 孔一 (岡山大), 西崎 博光 (山梨大)
コンピュータシステム CPSY	10,152	吉永 努 (電通大) 安里 彰 (富士通), 中島 康彦 (奈良先端大)
コンピュータシオン COMP	7,560	今井 桂子 (中大) 伊藤 大雄 (電通大)
人工知能と知識処理 AI	5,076	松原 繁夫 (京大) 菅原 俊治 (早大), 峯 恒憲 (九大)
ソフトウェアサイエンス SS	8,100	中島 震 (NII) 結縁 祥治 (名大)
データ工学 DE	4,212	木俣 豊 (NICT) 中島 伸介 (京都産業大), 天笠 俊之 (筑波大)
パターン認識・メディア理解 PRMU	10,044	鷺見 和彦 (青学大) 柏野 邦夫 (NTT), 黄瀬 浩一 (阪府大)
ディペンダブルコンピューティング DC	11,448	梶原 誠司 (九工大) 金川 信康 (日立)
ニューロンコンピューティング NC	13,824	古川 徹生 (九工大) 小池 康晴 (東工大)
知能ソフトウェア工学 KBSE	7,128	松浦 佐江子 (芝浦工大) 飯島 正 (慶大)
音声 SP	10,908	川端 豪 (関西学院大) 河井 恒 (KDDI 研)
教育工学 ET	7,236	赤倉 貴子 (東京理科大) 小西 達裕 (静岡大)
医用画像 MI	16,740	清水 昭伸 (東京農工大) 増谷 佳孝 (東大), 森 健策 (名大)
ソフトウェアインタプライズモデリング SWIM	4,536	野地 保 (元東海大) 須栗 裕樹 (宮城大), 黒瀬 晋 (NEC)
リコンフィギュラブルシステム RECONF	7,344	弘中 哲夫 (広島市大) 渡邊 実 (静岡大), 本村 真人 (北大)
情報通信システムセキュリティ ICSS	10,260	菊池 浩明 (明治大) 三宅 優 (KDDI 研), 盛合 志帆 (NICT)
情報論的学習理論と機械学習 IBISML	7,452	上田 修功 (NTT) 樋口 知之 (統計数理研), 鷺尾 隆 (阪大)
マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント EMM	14,472	越前 功 (NII) 新見 道治 (九工大), 西村 竜一 (NICT)
クラウドネットワークロボット CNR	9,288	萩田 紀博 (ATR) 土井 美和子 (東芝), 今井 倫太 (慶大)
サービスコンピューティング SC	5,076	村上 陽平 (京大) 石川 冬樹 (NII), 細野 繁 (NEC)

FIT2014 第13回情報科学技術フォーラム

査読付き論文・一般論文 発表募集案内



【会期】2014年9月3日(水)～5日(金)
 【会場】筑波大学(つくば市天王台1-1-1)

FIT2014 Web ページ <http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2014/>

FIT 査読付き論文受付期間: 2014年3月5日(水)～4月16日(水)
 FIT 一般論文 受付期間: 2014年4月23日(水)～5月22日(木)

電子情報通信学会 情報・システムソサイエティは、本学会のヒューマンコミュニケーショングループならびに情報処理学会と2002年から合同で毎年秋季に、「情報科学技術フォーラム(FIT: Forum on Information Technology)」を開催しており、2014年9月に第13回目を筑波大学で開催します。

論文の種類には、「FIT 査読付き論文」と「FIT 一般論文」がございます。「FIT 査読付き論文」の中から、船井ベストペーパー賞、FIT 論文賞を選定し、表彰します。また、論文の種類に関わらず、若手研究者を対象に優れた発表を選定し、FIT ヤングリサーチャー賞として表彰します。これらの賞に加え、今回の FIT より FIT 奨励賞を新たに創設致しました。

また、FIT2009より「FIT 査読付き論文」について優秀な論文を電子情報通信学会または情報処理学会の論文誌へ推薦する制度を設けました。最大ページ数を論文誌(フルペーパー)と同等の8ページ程度まで広げて、「FIT 査読付き論文」の申込と併せて「論文誌への推薦希望」も受付致します。みなさま是非ともチャレンジして下さい。

【FIT 論文表彰制度】

船井ベストペーパー賞	FIT 査読付き論文の中から、FIT 学術賞選定委員会の論文審査に基づき選ばれます(3件程度)。賞金は20万円です。
FIT 論文賞	FIT 査読付き論文の中から、FIT 学術賞選定委員会の論文審査に基づき選ばれます(7件程度)。賞金は5万円です。
FIT ヤングリサーチャー賞	FIT 開催年の12月31日現在で33歳未満の講演者(FIT 査読付き論文及び FIT 一般論文)の中から、特に優れた発表をされた方が選ばれます。賞金は3万円です。
FIT 奨励賞	一般発表のセッション毎に座長の裁量で優秀な発表を1件その場で選定します(該当なしもあり)。受賞者には、FIT 終了後に賞状を FIT 運営委員会より贈呈します。

多彩なイベントが企画され広範な分野の研究者が一堂に会する本フォーラムは、皆様にすばらしい研究成果発表の場を提供いたします。奮って御応募下さい。

○● 電子情報通信学会 情報・システムソサイエティ誌編集委員会 ●○

- 副会長(編集会議担当) 増市 博(富士ゼロックス hiroshi.masuichi@fujixeroc.co.jp)
- 杉本 晃宏(NII sugimoto@nii.ac.jp) 天野 英晴(慶応大 hunga@am.ics.keio.ac.jp)
- 編集委員長 斎藤 寿樹(神戸大 saitoh@eedept.kobe-u.ac.jp)
- 西脇 大輔(NEC d_nishiwaki@da.jp.nec.com) 八槿 博史(東京電機大 yamakih@mail.dendai.ac.jp)
- 編集幹事 鷺崎 弘宜(早大 washizaki@waseda.jp)
- 宮崎 修一(京大 shuichi@media.kyoto-u.ac.jp) 渡辺 陽介(東工大 watanabe@de.cs.titech.ac.jp)
- 神原 誠之(奈良先端大 kanbara@is.naist.jp) 三好 利昇(日立 toshinori.miyoshi.pd@hitachi.com)
- 特任編集幹事 金子 晴彦(東工大 hkaneko@fuji.cs.titech.ac.jp)
- 菅谷 史昭(KDDI 研 fsugaya@kddilabs.jp) 宮脇 陽一(電通大 yoichi.miyawaki@uec.ac.jp)
- 松居 辰則(早大 matsui-t@waseda.jp) 竹内 広宜(IBM hironori@jp.ibm.com)
- 門田 啓(NEC a-monden@bk.jp.nec.com) 篠崎 隆宏(東工大 shinot@ip.titech.ac.jp)
- 松井 知子(統数研 tmatsui@ism.ac.jp) 森本 容介(放送大 morimoto@ouj.ac.jp)
- 山川 宏(富士通研 ymkw@jp.fujitsu.com) 北坂 孝幸(愛工大 kitasaka@aitech.ac.jp)
- 企画広報幹事 宇田川 佳久(東京工芸大 udagawa@cs.t.kougei.ac.jp)
- 数井 君彦(富士通研 kazui.kimihiko@jp.fujitsu.com) 中原 啓貴(鹿児島大 nakahara@eee.kagoshima-u.ac.jp)
- 和文論文誌編集副委員長 鹿島 久嗣(東大 kashima@mist.i.u-tokyo.ac.jp)
- 山口 修(東芝 osamu1.yamaguchi@toshiba.co.jp) 小嶋 徹也(東京高専 koj@tokyo-ct.ac.jp)
- 英文論文誌編集幹事 神原 誠之(奈良先端大 kanbara@is.naist.jp)
- 津邑 公暁(名工大 tsumura@nitech.ac.jp) 田仲 正弘(NICT mtnk@nict.go.jp)
- 編集委員 河野 義広(東京情報大 ykawano@rsch.tuis.ac.jp)
- 岡本 淳(東京女子医大 j-okamoto@abmes.twmu.ac.jp) 井上 康之(電通大 y-inoue@hi.is.uec.ac.jp)
- 江崎 喬(ECSEC Laboratory ezaki@ecsec.jp) 森 秀樹(東洋大 mori@toyo.jp)
- 菅野 勝(KDDI 研 sugano@kddilabs.jp)